



希望の扉

2025年を迎えました。明けましておめでとうございます。どうぞ今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、2025年の一年間、カトリック教会では教皇フランシスコの呼びかけで「聖年」を祝います。「聖年」とは大まかに言うと、指定された巡礼教会へ巡礼し決められた条件に従って祈ると、免償が与えられるというものです。免償とは罪を赦してもら

うための償いが免除されるというものです。罪の償いが終わっておらず、天国へ行けない人のために免償をいただき、天国へ行けるようにすることができます。自分のために、またすでに亡くなった誰かのためにも頂くことができます。巡礼教会はローマの大きな教会が指定されていますが、誰もがローマに行ける訳ではないので、各国、各地区にも巡礼教会が指定されており、自分の地域でも免償を頂くことができます。聖年の開始には、ローマの

四つの教会の聖なる扉が開かれ、聖年の終わりにその扉は閉じられます。

聖年にあたり教皇フランシスコは大勅書を発表しました。その題名は「希望は欺かない」です。教皇は「すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように」と書いています。希望、明るい言葉です。心を暖かくしてくれる言葉です。人生の中で希望を抱けない時もあります。今を、絶望の中で過ごしている人もたくさんいることでしょう。世界の情勢を見るとそう思います。その状況を打開するのは赦ししかないのかもしれませんが。人にとって

赦しは難しいことです。でも聖年の赦しは神の赦しが無限であることを現しているのだそうです。希望は神様が与えて下さるものだと思います。心の扉を開け希望をもって今年を始めましょう。

(院長 山中淳子)



次回発行日は令和7年3月1日です。よろしくお願いいたします。

防火訓練

昼間の火災を想定した避難訓練を行いました。初期消火、通報、避難誘導と一連の行動と役割分担を確認しました。出火場所によって、使用する消火栓が異なることなど、共通の認識が必要な点がありました。最後に消火器の使用について説明を受け、実技をして解散しました。



勤労感謝の日

勤労感謝の日の前日に、聖マリア保育園の子どもたちが、病院を訪問してくれました。ロビーには、かわいらしい声が広がり、一斉に明るい雰囲気になりました。日頃のお礼にと、絵と歌のプレゼントを披露してくれました。



第1回聖マリア病院職場体験フェスタ

11月24日(日) 聖マリア病院に子どもたちを迎え、『職場体験フェスタ』を行いました。子どもたちに、医療や福祉について興味を持ってもらい、具体的な体験を通して、職業を選択するきっかけとなることを目的です。明るく楽しい雰囲気を作るためにバルーンアーチが登場しました。今回は小学生を対象としましたが、今後は対象者を広げていければと思っています。



受付は病院の窓口。笑顔が大事です。タブレットを使って順番に受付します。



お薬を分包します。間違わないように気を付けてね。



白衣がお似合い

リハビリでもいろいろな道具を使うんだな。



エコー検査でお腹に異常がないか診ています。



一滴の血液の中にいろんな形のものが見えます。顕微鏡って面白い!



思いきって息を吸い込んで、大きく吐き出します。



子どもと一緒に行って、質問してきました。大人も勉強になりましたよ。



ベッドメイキング中。しわがでないように引っ張って。



病気で嚙んだり飲んだりするのが不自由な人の食事を体験します。



駐車場にはキッチンカーが並びました。お昼ごはんは温かい食べ物をたべて、楽しいひと時となりました。



支援物資を「ほしのいえ」へ

東京山谷地区で、30年以上にわたり、路上生活を余儀なくされている人々の自立に向けた支援をしている「ほしのいえ」という団体があります。今回、「ほしのいえ」の炊き出しのために必要な食材等を募集する呼びかけが病院内でもあり、各方面から支援物資が集まったそうです。



お礼

「ほしの家」支援物資のご協力ありがとうございました。福江修道院で準備した物資と合わせて、お米約70kg、梅干し、食品、タオル等を段ボール7箱に詰めて郵送させていただきました。

寒さがきびしくなってきたこの頃、生活を保障されていない方々が、少しでも主のご降誕と年末年始を温かく、心身ともに満たされて過ごせるよう、奉仕されている方々と共に祈り、行動していけたらと思います。提供してくださった方々に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

福江修道院 シスター戸村

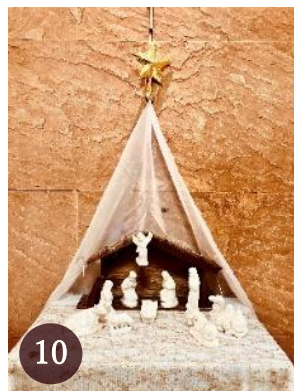
聖マリア病院のクリスマス

今年は、待降節(クリスマスを準備する期間)も主日の聖書箇所を神父様に解説していただき、クリスマスの意味を深めるための資料をメールで共有するなど工夫を凝らしながら過ごしました。クリスマスの12月25日には、病院内でクリスマスミサが行われ、入院中の患者さんや修道院のシスターたちと一緒に、主のご降誕をお祝いしました。すべてをささげる神様の姿に私たちも似たものとなるようお祈りしました。





1. クリスマスマサ 2. 待降節掲示板
3~4. 患者さんへクリスマスプレゼント 5. 玄関イルミネーション 6. 病棟クリスマスツリー 7. リハビリ室ツリー 8. クリスマスマニュー 9. ロビー馬小屋飾り 10. 祈りの部屋 11. 5階エレベーター前ミニチュアセット



研修医紹介～はじめまして～



飯野 研一郎

Dr. Iino Kentaro

- ◇出身地…福岡県
- ◇趣味・特技…卓球、登山
- ◇志望科…循環器内科
- ◇研修期間…令和6年12月1日
～令和7年1月25日

五島へ来るのは今回が初めてで、他に研修医がいないので少し不安ではありましたが、皆さん笑顔で温かく接して下さるので、2か月間、楽しくやっていたりなと実感しているところです。五島のおいしいごはんや魅力を発見し、後輩たちへも伝えられたらと思います。

今月のイチ押し



ペットボトルのキャップで作った病院のロゴマークをいただきました。職員のご家族の手作りで、リサイクル品とは思えない出来栄です。

編集者より

新年を迎えました。2000年からもう25年が経つのかと驚きます。教皇ヨハネパウロ二世は、2001年に『新千年期の初めに』という使徒的書簡を著し、「感謝をもって過去を見る」「熱意をもって現在を生きる」「希望をもって未来に向かう」ことの重要性を説きました。聖年の区切りの年に、この言葉をもう一度味わいたいと思います。不安や緊張を引き起こす批判にさらされやすい現代、強く寛大に生きることは大きなチャレンジでもありますが、希望をたずさえて一年を過ごしていきたいものです。（編集者）